



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
11月08日
発行

第111回 「ここから日本株は上昇と考える3つの理由」

～出遅れ内需株に注目～

初めに

日経平均は相変わらず3万円を前に足踏みを続けていますが、自分は3万円突破の機が熟してきたように感じています。そこで今回はそのように感じる理由についてお話しします。理由は3つあります。好決算、米国の大規模インフラ投資法案成立、コロナ沈静化に伴う内需の回復、以上の3つです。なお、岸田政権も経済対策は用意するでしょうが、スピード感に欠け、また現金給付は預金になってしまうと思われることから、効果は低いと見ています。

企業業績は上方修正

前担当レポートでも報告しましたが、今回の日本企業の決算はこれ以上ない好決算だと思います。原材料価格が高騰、更にはサプライチェーンの混乱など、想定外の出来事が続く中で大幅増益を確保しました。11月7日の日本経済新聞によれば、今期の上場企業純利益は45%、8月時点の36%から上振れする見通しです。これだけの好決算を市場が無視するとは考えられません。これが日本株の上昇を見込む第一の理由です。

米大規模インフラ整備法の成立

2番目は米国のインフラ整備法の成立です。地下鉄、橋梁、道路など米国のインフラの老朽化が指摘されて久しくなりますが、バイデン大統領はその解消に乗り出しました。単なるインフラ整備に止まらず、米国の競争力強化につなげる成長戦略との位置付けです。既存の支出を含め総額1兆ドル規模の投資を目指します。法案はバイデン氏の署名を受け発行する見込みです。受注するのは基本米企業でしょうが、事業規模の大きさを考えるとコマツやクボタなどにもチャンスがあるかもしれません。

コロナ沈静化に伴う内需の回復

3番目はコロナ沈静化による内需の回復です。既にお話ししたように今回の決算は概ね良好でしたが、例外が旅行・外食・レジャーなどの内需株です。新型コロナを受けた行動規制により今回も大きな打撃を受けました。しかし今は行動制限も解除され、先週末には紅葉見物に繰り出した方も多かったようです。こうした状況が続けば内需系企業の業績急回復ということもありそうです。以上3つの理由から今後日本株は上昇と見ています。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あつせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。